# 四国の水問題に関する中間とりまとめの骨子目次の変更点

参考－2

「提言」の内容

「中間とりまとめ」の内容

継続して検討すべき内容

## 「提言」の内容

**起**

「中間とりまとめ」にあたって

○ 水問題研究会での議論の記録を正確に示すことに重点を置く。
○ 「提言」では、資料集を作成するなど、内容を簡略化したとりまとめも想定
○ 下記基本的課題について共通認識のうえ研究実施。
・気候変動による洪水・渇水のリスクの増大に対応。
・「四国はひとつ」の共有意識
・歴史的経緯の尊重と直面する課題への冷静な対応
・公平で受けられやすい解決策

**承**

1．四国地方の特性と環境の変化
1．1　四国の自然特性と吉野川との関わり
　1．1．1　四国の自然特性
　1．1．2　吉野川との関わり
1．2　水問題を取り巻く環境の変化
　1．2．1　最近の気象状況の変化
　1．2．2　社会条件の変化

2．吉野川水系等の水事情
2．1　河川機能から見た水事情の状況
　2．1．1　治水安全度の向上
　　(現状と課題)
　　(1) 低い吉野川の堤防整備率
　　(2) ダムの洪水調節容量の不足
　　(方向性)
　　(1) ハード・ソフト対策による治水安全度向上
　　(2) ダムによる洪水調節機能の向上
　　(3) 関係機関の連携
　2．1．2　利水安全度の向上
　　(現状と課題)
　　(1) 吉野川水系の水利用
　　(2) 利水安全度の低下
　　(方向性)
　　(1) 水利用の検証と効率的な水利用
　　(2) 目標利水安全度の向上
　2．1．3　環境の改善
　　(現状と課題)
　　(1) ダム下流の河川環境の悪化
　　(2) 地球温暖化の緩和対策
　　(方向性)
　　(1) ダム下流の河川環境の改善
　　(2) 良好な水質の確保
　　(3) 水力発電の有効利用
2．2　地域社会から見た水事情の状況
　2．2．1　水源地域の状況
　　(現状と課題)
　　(1) 水源地域の活力低下
　　(方向性)
　　(1) 水源地域の活性化
　2．2．2　受益地域の状況
　　(現状と課題)
　　(1) 渇水・渇水に弱い社会基盤
　　(方向性)
　　(1) 渇水に強い社会システムの構築
　　(2) 非常用緊急水源の確保
　　(3) 受益地の連携

**転**

2．3　水事情の相互関係の状況
　2．3．1　機能面から見た相互関係
　2．3．2　地域社会面から見た相互関係
　2．3．3　適正な相互関係を築くための基本的な考え方

**結**

2．4　将来を見据えた水問題の解決
　(現状と課題)
　(1) 社会情勢変化への対応
　(2) 気象変化等への対応
　(方向性)
　(1) 吉野川を軸とした四国4県の連携
　(2) 安全・安心な水利用の確保

**転**

3．水問題の解決に向けた留意点
　3．1　情報の共有
　3．2　取り組みの評価
　3．3．交流と連携

**結**

4．水問題の解決に向けて

## 「中間とりまとめ」の内容

**起**

「中間とりまとめ」にあたって

○ 次世代に安全・安心と活力ある四国を引き継いでいくため、基礎インフラとしての水問題を合理的に解決。
○ 水問題は四国全体の課題として、「四国が一つ」の共通認識と実現により、広域的視点から総合的に取り組む。
○ 水問題研究会での議論の記録を正確に示すことに重点を置く。
○ 下記基本的課題について共通認識のうえ研究実施。
・気候変動による洪水・渇水のリスクの増大に対応。
・歴史的経緯の尊重と直面する課題への合理的な対応
・公平で受けられやすい解決策

**承**

1．四国地方の特性と環境の変化
1．1　四国の自然特性と吉野川との関わり
　1．1．1　四国の自然特性
　1．1．2　吉野川との関わり
1．2　水問題を取り巻く環境の変化
　1．2．1　気象状況等の変化
　1．2．2　社会状況の変化

2．吉野川水系等の水事情
2．1　河川機能から見た水事情の状況
　2．1．1　洪水に対する安全度について
　　(1) 低い吉野川の堤防整備率
　　(2) ダムの洪水調節容量の不足
　2．1．2　水利用の安全性について
　　(1) 吉野川水系の水利用
　　(2) 水利用の安定性の低下
　2．1．3　環境について
　　(1) ダム下流の河川環境の悪化
　　(2) 水力発電の利用
2．2　地域社会から見た水事情の状況
　2．2．1　水源地域について
　　(1) 水源地域の活力低下
　2．2．2　受益地域について
　　(1) 洪水・渇水に弱い社会基盤
2．3　水事情の相互関係の状況
　2．3．1　河川機能面から見た相互関係
　2．3．2　地域社会面から見た相互関係

**転**

3．水問題の解決に向けた方向性
3．1　河川機能面から見た方向性
　3．1．1　洪水に対する安全性について
　　(1) 洪水氾濫に対する安全の向上
　　(2) ダムによる洪水調節機能の向上
　3．1．2　水利用の安定性について
　　(1) 水利用の検証と効率的な水利用
　　(2) 水利用の安定性の向上
　3．1．3　環境について
　　(1) ダム下流の河川環境の改善
　　(2) 良好な水環境の確保
　　(3) 地球温暖化の緩和
3．2　地域社会面から見た方向性
　3．2．1　水源地域について
　　(1) 水源地域の活性化
　　(2) 森林の保全
　3．2．2　受益地域について
　　(1) 渇水に強い社会システムの構築
　　(2) 緊急時の用水の確保
3．3　水事情の相互関係から見た方向性
　　(1) 水問題の解決のための総合的な方向性
　　(2) 適正な相互関係の構築について
3．4　四国人の相互理解の向上のための留意事項
　　(1) 情報の共有化
　　(2) 取り組みの評価
　　(3) 交流と連携

**結**

今後の取り組みに向けて
○ 「中間とりまとめ」を広く広報し、関係機関、住民の理解を深める
○ 四国自らの力で解決を目指す
○ 「最終報告書」のとりまとめに向けて

---

**水問題解決の目標を追記**

**「1．2水問題を取り巻く環境の変化」に統合**

**「2．吉野川水系等の水事情」は、(現状と課題)のみとし、(方向性)を「3．水問題の解決に向けた方向性」として切り出し。**

**「3．水問題の解決に向けた留意点」を「3．水問題の解決に向けた方向性」へ統合**

**本文から切り出し、「今後の取り組みに向けて」として記載。**